

校長 eyes (199)

2月20日(木)【文学のこみち】



尾道は、その昔から多くの文人墨客が訪れ、滞在しました。千光寺山山頂から中腹にかけての散歩道は「文学のこみち」と名付けられ、点在する自然石には、林芙美子や志賀直哉をはじめ尾道ゆかりの25名の作家・詩人の詩歌・小説の断片等が刻まれています。そのうちの 하나가、本校創設者である山口玄洞翁の座右の銘であった「明明徳」です。先日、勤務前に訪れてみました。巨石に刻まれた三文字が何かを語り掛けてくださった気がしました。

本日の短歌

「明德を 明らかにする その教え 100年を経て 受け継ぐ我ら」